

IDCJ 評価部主催
「第 21 回プロフェッショナル統計分析ワークショップ」
受講生アンケート結果
(2019. 12. 16~12. 18)

1. スタンダードコースでは以下のトピックを学びました。それぞれに関して、満足度や今後の改善点に関するコメントを記載してください。

「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」

- 復習兼ね、丁寧な解説で分かりやすかったです。
- 手計算をしながら、計算の意味が理解できたので分かりやすかったです。
- 丁寧な説明でとても分かりやすかったです。
- 丁寧な解説でよくわかりました。分散と標準偏差の違い（何を表すか）がようやくわかりました。
- この辺は比較的余裕をもって聞くことができました。改めて考えると、ヒストグラムが本当に色々な情報を含んでいることがよくわかりました。
- 統計の基礎となる部分が分かってよかったです。
- 今までテキストなどで分かりにくかったところがわかりました。
- 平均値、中央値は馴染み深いコンセプトなので、もっと端折ってもいいかと思いません。
- わかりやすかったです。

「t 検定」（事前・事後の t 検定、2 群の t 検定）

- t 検定で実際にやっている中身、意味合いがよくわかりました。
- 今までよく分からなかった t 値や p 値が、その意味だけでなく背景の計算ロジックも含めてやっと理解できました。実践的な論文の読み方までカバーしていただき、とても充実していました。
- 実務的な話から学术论文の読み方まであり、ためになりました。
- 丁寧にやっていただいて、t 検定のやり方、考え方が理解できました。ただ手計算を一人でやれと言われると、多分途中で迷うだろうというのが正直なところ。大学入試以降数学に触れていないサビついた頭では、事象を数式でモデル化すること自体、馴染むのに時間がかかるものでした。
- 実際の数式部分は理解及ばずでしたが、考え方は理解できたと思います。
- 標準偏差と標準誤差の部分が少しわかりにくかったので、もしよかったら手を使った説明の前に次元が違うことを一言教えて頂けると助かります（100 回くり返した時が標準誤差など）。
- 以前の統計のクラスで分からなかった概念的なところ（統計とは何を意味しているのか）が明らかになりました。

- 「t 検」と見ただけで読み飛ばしていたのが分かった。学会でも質問できるようになった気がします。
- 論文の読み方も習えて、実務に活かそうと思いました。

比率の検定

- t 検定と比べて、説明が少し少ないかなと思いました（おそらくカイ 2 乗は内容も薄いのだと思いますが）。
- 4 と 5 段階スケールについては、ちょうどプロジェクトで議論になったところで、もう少し早く知っていれば…と思いました。
- 理解できたかと思います。
- t 検定に比べると確かに随分あっさりですね。つい t 検定や回帰分析のほうをやりたいなくなってしまいますが、これはこれで適切に使っていきたいと思いました。
- 本で読むと、コインの話（？）とかから始まるような印象で、いまいよく分かっていませんでしたが、シンプルな説明で実用的だと感じました。
- 以前の統計のクラスで分からなかった概念的なところ（統計とは何を意味しているのか）が明らかになりました。
- 「カイニ乗検定」がよく分かりました。

「回帰分析」（単回帰・重回帰）

- 手計算はとてもいい経験でした。t 検定との関係性も実際に、自分でやってみることで納得できた気がします。回帰分析の扱い（限界？）や、実社会での活用例も多々盛り込んでいただいて、興味深かったです。
- 最後に重回帰で効果的な方法を考えることができたので、今後に生かしたいと思いました。
- RCT との使い分け（？）含め、実践につながる話が多くイメージがしやすかったです。
- その昔計算でやったことの意味がぼんやり理解できました。調査報告書に出てくる小数点以下の桁の多い表の意味が分かる程度には少なくともなったかと思います。
- 論文でよく見る分析表がようやくきちんと理解できるようになりました。批判も多いかもかもしれませんが、1つのツールとして役に立つものだと思うので、いろいろと使っていきたいと思います。
- 手計算の内容はあらかじめ式が書かれていて、その通りやればできましたが、内容が頭に入りきりませんでした。
- 「ロジスティクス回帰分析」のようなよく耳にする派生版についても教えてほしい。
- Excel だけでなく、手計算もするので、どう計算しているのか理解することができました。

構造方程式モデリング（SEM）

- 今回初めて学ぶ内容でした。図式で表すので報告書に載せられれば説得力があるなと思いました。

- Excel の回帰分析で表しきれない複雑な因果関係を表すことができ面白いです。一方でワーディングのセンス次第というのはその通りという感じなので、なかなか概念をストンと理解するのが難しかったです。
- 初めて使ったが、操作は実際やってみることで分かったと思います。理論的な理解は不十分なので、テキストを読みながら自習が必要だと思います。
- 最後の潜在的な指標を計算するという考えが新鮮でした。
- 最後の事例のディスカッションにもう少し時間がさければよかったかと思います。消化不良感がかなり残りました
- どう活用するのか少しイメージがしづらかったです。
- 勉強になりました。
- 実務に活用できる内容でした。

2. 応用コースでは以下のトピックを学びました。それぞれに関して、満足度や今後の改善点に関するコメントを記載してください。

階層線形モデル (HLM)

- 講師の雰囲気、講義内容に大変満足でした。限られた時間の中で難しいとは思いますが、もう少し時間をとれば尚良かったと思います。
- 今後使えそうなことが多く、とても有意義でした。もしよろしければ、もう少し長い時間をとって下さってもいいかなと思いました。
- Overview を得られたと思います。分析演習用の資料は後で見ても分かるように使っていたので良かった。カラーだともう少し見やすかったと思います。
- 早くて理解が追いつきませんでした。テキストにもう少し詳細に書いていただければありがたいです。
- 駆け足の講義でしたが、非常に興味深いものでした。さらに学びたい場合、Excel が使えないのが残念です。
- もう少し時間をかけてやってみたかったです。
- レベル分けして階層的に分析できるしくみに驚きました！ぜひ使ってみたいと思う一方で、午前中だけではなかなか演習時間がとれず、もう少し手を動かして感覚的に理解できればと思いました。
- 概念はのみ込めましたが、手計算の部分を理解するのはこの短時間では大変でした。実務で重要なサンプリングの方法を学びたかったです。
- ちょっと発展的過ぎてついていけなかった。もう少し基礎的なところを教えてほしいかも。全体の理解度からするとモデリングは早いように感じる。

最新分析手法 (DID、PSM、IV)

- 実際にエクセルを使ってやってみるのは非常に良かった。コンセプト的な説明しか受けたことがなかったので、実用面でのイメージができました。

- DIDは思ったよりも中身はシンプルで拍子抜けしてしまいました。PSM, IV等いろいろな手法があり、ついつい知っているとは複雑なことをやりたくなりそうですが、知りたいことに答えられる、シンプルな方法を検討する重要性も感じました。
- HLMも併せてですが、応用編をより実践で活用していくためのコースなどあれば、ぜひ受講したいなと思いました。
- (前項と)同様に、もう少し時間をとれば尚良かったと思います。
- IVは、今後使用するのには複雑すぎる部分もあるかとは思いますが、DIDなどは積極的に使っていきたいと思います。
- DID、PSMまでは理解できた(と思います)が、IVは何をやっているのか途中からわからなくなりました。
- コンセプトは理解できましたが、現レベルでは自分で使うのは絶対ムリですね。個人的にはキャパシティ・オーバーです。知識として持つておく分にも十分に意味はあると思っていますが…。
- 概念はのみ込めましたが、手計算の部分を理解するのはこの短時間では大変でした。実務で重要なサンプリングの方法を学びたかったです。
- DIDがよく分かった。恐るるに足らず！